



いよいよ今年も残すところあと半月となりました！12月に入ったとたん、なんとなく気ぜわしくなるのが不思議です。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

11月下旬から家族揃って東京へ行ってきました。私エリの仕事が2つもあったため、ついでに里帰りもしてきました。どんな仕事だったのか、少しご紹介したいと思います。

一つ目の仕事は、パネルディスカッション。東京国際フォーラムで開催されていた「アグリビジネス創出フェア」の中で農林水産省が企画したパネルディスカッションにパネラーとして呼んでいただきました。テーマは「地域の資源を見直す」。私が理事長を務める九州バイオマスフォーラムというNPOは、5年前に設立されて以来、農村にたくさんある“再生する資源”を使う活動を続けています。2年前からは阿蘇市と協力し、阿蘇の草原から豊富に取れるススキで発電するプロジェクトに着手。ダイズやトウモロコシからできるバイオ燃料が最近よく話題となっていますが、やはり輸入に頼っていることや、ただでさえ食料自給率が低いのに農産物を燃料にすることに対して議論が続いています。これに対して、ススキなら食料とは競合しないし、使うことで草原の管理にもつながるので、予想よりはるかに大きな注目を集めているのです。今年の5月には市営プールに隣接してススキ発電施設が誕生。全国から視察が増えています。その他にも、地域で発生する生ごみや使い終わったてんぷら油を資源として利用できないか、という取り組みも続けています。そんな活動が認められ、パネルディスカッションに呼ばれたというわけです。他には間伐材の利用に取り組んでいる森林組合の職員さんや、生ごみや家畜糞尿の利用に取り組んでいる自治体職員さんがパネラーとして参加されていました。立ち見が出るほどの盛況振りでかなり緊張しましたが、農業や農村が備えている大きな可能性を知っていただく良い機会となりました。

二つ目の仕事も、同じ活動を評価されてのものですが、こちらはなんと表彰式。日経ウーマンという雑誌が毎年企画している「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」の一人に選ばれたのです！3つの部門で10人ずつ選出されるうち、私が選ばれたのはリーダー部門。地元の自治体を動かして化石燃料に変わるエネルギー利用の取り組みに挑んだ、という評価でした。選んでいただけたのはもちろん嬉しいのですが、なんだか普段とあまりに違うきらびやかな世界で、「こんなところにいていいのかな？」という思いが最後まで消えませんでした。授賞式にも子守りとして参加した耕太。カメラマンもしてもらったつもりが、壇上に立つ私を指差して「おかあさあぁん」と泣き出した子供たちを連れてひとまず退場。控え室でバナナをあげたりジュースを飲ませたりの大奮闘で、子供たちの機嫌が直ったあとも控え室で子守りに徹してくれました。「ハズバンド・オブ・ザ・デイ」だね、と本人。うん、確かに。もしくは「ファーザー・オブ・ザ・イヤー」。特に乳離れしてからは、「おとうさん、こうたー！」と父親に甘える子供たちと本当によく遊んでくれています。



授賞式の模様。一番右の青い和服が私です。

さて、そんな非日常の裏には地道な普段の暮らしが。冬には冬の仕事があります。まずはシイタケの原木にするクヌギの切り倒しです。倒したクヌギは、年内は山で葉を付けたまま枯らします。年明けに1~2m位の長さに切りそろえ、シイタケの菌を打ちます。もちろん原木にするのはある程度太い幹の部分で、残りは我が家の薪として使います。このクヌギを始め、広葉樹がすごいのは再生するということ。切り株から新しい芽が吹き出して、何年か後には立派な樹となります。あまり太くなりすぎると逆に再生しづらくなるそうで、人間が使うことで維持される森林生態系なのですね。



さらに庭に生ったユズの収穫が待っていました。枝にある棘をよけながら高枝切りばさみで収穫していきます。今年は成り年のようで、カゴいっぱいにとれました。さっそく子供たちが寝た後に夜なべで砂糖漬けにしました。これをなますに入れると美味しいのです。

そして、12月には恒例の餅つき。小雨の降る中、庇の下に設置した簡易かまどで、前日から洗って浸けておいたもち米を蒸し、蒸しあがったらもちつき機



に入れます。待つこと約20分。あつあつのお餅が出来上がります。これが冷めないうちにちぎって丸餅にするのが私の仕事。なにしろ熱いので、氷をつかみながらの作業です。今年は全部で1.5升×12回も繰り返しました。息子達も静かに遊んでくれているなあ~と、安心して作業に集中していたらなんと！あんこが食べられてました~！（写真右）もう笑うしかありません。

今月は16日から家族そろってドイツに行くため、発送が早まってしまいご迷惑をおかけしました。最後になりましたが、今年もおあしす米を召し上がっていただき、本当にありがとうございました。皆さま、どうぞお元気でよいお年をお迎え下さい。来年もどうぞよろしくお願いたします。